

<p>国鉄改革完遂！          当たり前の労働運動          を前進させよう！</p> <p>J R 東海労に          結集しよう！</p>	<p>J R          東海労</p>	<p>静岡</p>	<p>J R 東海労働組合静岡地方本部          静岡市葵区黒金町 68          N T T 054-284-3608          F A X 054-284-6365          発行責任者 山本繁明          2014年 6月 27日 No.24</p>
---	-----------------------------	-----------	--

# 新幹線50周年バッチ着用は業務に必要か？紛失・汚損したら始末書？

会社は、7月1日（～11月30日）から駅及び運輸区などの接客社員を対象に、東海道新幹線開業50周年のロゴマークバッチを着用させるための準備を進めています。「お客様への感謝の気持ちを表現するとともに、社員の更なる接遇向上を図るため」とし、厳正な管理を促しています。

そもそも普段の業務に必須ではない物が、なぜ貸与品となるのでしょうか？一部の現場管理者は「紛失すれば始末書だ」と言っていますが、バッチを紛失させないためには社員個人の注意・管理が必要となります。また、胸ポケットの使用には制約が課せられており、バッチの着用は業務遂行上の支障と負担を強いられることとなります。会社が感謝の気持ちを表現するというのなら、『ありがとう』はバッチの裏側ではなく表側にデザインすべきです。あるいは、バッチではなく車両のラッピングの方が一目でわかります。

そしてお客様に感謝することはもちろん、社員を労うべきです。会社は、経費削減を奨励しているのに？不思議とは思いませんか？

バッチの強制着用・厳正な管理は、運輸系統社員の労働強化・管理です！！